

平成 22 年度事業報告書

自平成 22 年 4 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日

平成 22 年度は、「気候変動枠組条約」及び「生物多様性条約」(平成 4 年(1992 年)に採択されたいわゆる双子の条約)に関連する活動が、事業全体に占める割合として高かった一方で、産業活動と密接な関わりを持つ大気及び水質に関わる事業にも意欲的に取り組んだ年であった。

1. 研究会活動

会員の関心あるテーマ・分野で環境政策研究会、常設委員会及び環境問題懇談会を開催した。それぞれの開催状況等は以下のとおり。

(1) 環境政策研究会

政府における環境政策策定の責任者の方々(局長、審議官)をお招きし、政策決定の背景や国際的な動向等についての講演及び意見交換の機会として、年 4 回開催した。

テーマ一覧 「当面の環境政策 - 地球温暖化対策を巡る動向等」
「環境白書を読む会 - エグゼクティブコース」
「地球温暖化対策の国際動向等」
「当面の地球温暖化対策」

(2) 常設委員会

5 つの常設委員会(企画運営委員会、大気環境保全対策委員会、水質環境保全対策委員会、地球環境保全対策委員会及び廃棄物対策委員会)活動を通じて、分野別に研鑽を深めるとともに、会員相互の情報交換の場として、計 14 回開催した。なお、各委員会には、中央官庁の環境政策の企画・立案責任者の方々(課長、室長等)をお招きし、意見交換等を行った。

テーマ等一覧

企画運営委員会 「地球温暖化対策に関する国内外の動向」
「地球温暖化対策・主要 3 施策」
大気環境保全対策委員会 「中国における大気汚染等」
「公害防止への取組等」
「PM2.5、VOC、有害大気汚染物質対策」

水質環境保全対策委員会	「地下水汚染の未然防止対策」 「第7次水質総量規制・規制基準等」 「土壌汚染対策法施行（省令等）」
地球環境保全対策委員会	「排出量取引制度創設と京都メカニズム活用」 「地球温暖化問題を巡る国際動向」 「中長期ロードマップの検討状況」
廃棄物対策委員会	「廃掃法改正」 「循環型社会形成に向けて」 「産業廃棄物対策」

(3) 環境問題懇談会

大気、水質、地球温暖化対策及び化学物質に関する動向等をテーマに、計13回開催した。平成22年度の開催テーマの特徴として、第7次水質総量削減（総量規制基準）及び水質の事故時の措置等の水質に関する懇談会が、開催回数の過半数を占めた。

主なテーマ 「第7次水質総量削減・総量規制基準」
「事故時の措置等」
「PM2.5、VOC対策の動向等」
「国内における当面の温暖化対策」
「水銀に関する条約の制定に向けた内外の動向」

2. 調査・研究事業

本年度実施した調査・研究事業は以下のとおり。

(1) 効果的な公害防止の取組の促進と環境負荷の低減に係る調査業務（環境省請負）

近年の環境問題の多様化等を背景として、公害防止対策を取り巻く状況が構造的に変化し、このような状況のもと、昨今、基準の遵守の確認等、公害防止対策の的確な実施の必要性が高まってきているとのことから、平成22年1月29日、中央環境審議会より「今後の効果的な公害防止の取組促進方策の在り方について」の答申がなされた。

答申においては、事業者による自主的な公害防止取組を基本としつつも、地域社会全体、あるいは住民等のノウハウの活用による環境負荷低減が必要としており、これらについての検討が必要となっている。

そのため、地域ぐるみの公害防止取組促進のための測定データ等の公表、地域のパートナーシップによる公害防止取組、公害防止対策経験者のノウハウを発揮させることのできる取組について、「公害防止取組促進検討会・情報共有分科会（委員長 浦野紘平 横浜国立大学特任教授）」及び「住民参加分科会（委員長 岩崎好陽 社団法人におい・かおり環境協会会長）」を設置し、現状を踏まえた検討を行った。

(2) 新たな手法を用いた温室効果ガス削減に関する動向等調査(社団法人日本機械工業連合会委託)

地球温暖化に関する京都議定書の第一約束期間が始まり、我が国の温室効果ガスの削減目標達成のためにあらゆる分野での取組が進められている。機械系製造業は製造工程のみならず、製品レベルでの省エネへの取組を強力に進めている。具体的には、冷媒フロンを使用する機器及びその他の家庭内で使用する各種機器について、省エネ性能の向上や使用するエネルギー量等を表示すること、いわゆる「見える化」に取り組んでいる。

総合的な温室効果ガス削減対策としては、上記の「見える化」に加えて、カーボン・オフセット、(国内)排出量取引等による削減対策が有効と考えられているが、課題も指摘されている。しかしながら、現在の温室効果ガス削減に加え、見える化及び排出量取引等(以下、「見える化等」という)の新たな手法の活用等が増加していることより、それぞれの手法の概要を整理するとともに、国内の先行事例や海外の実態等を把握し、産業界の取組実態や本格導入に伴う効果、影響を調査した。

なお、調査の実施に当たって、「新たな手法を用いた温室効果ガス削減対策検討委員会」(委員長 柳 憲一郎 明治大学法科大学院教授)を設置し、検討を行った。

3. 普及・啓発活動

普及・啓発活動として、環境問題検討会の開催、シンポジウムの開催及び情報リストの提供を実施した。それぞれの概要等は以下のとおり。

(1) 環境問題検討会の開催

産業界に共通する当面の環境施策に関わる法改正や国際動向等について、施策の企画立案責任者の方々(中央官庁の課長、室長等)をお招きし、意見交換等を行った。平成22年10月に生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が名古屋市で開催されたことを背景に、COP10関連のテーマを中心に、計6回開催した。

テーマ一覧 「生物多様性を巡る動向

- 生物多様性国家戦略2010、生物多様性総合評価報告書等 - 」

「COP10に向けて～ABSを中心に」

「COP10を終えて～TEEB最終報告書を受けて」

「当面の水環境保全施策について」

「気候変動枠組条約第16回締約国会議(COP16)を終えて」

「国内における地球温暖化対策の動向」

(2) シンポジウムの開催

以下のとおりシンポジウムを開催した。

水環境保全のための総合的・横断的取組に関するシンポジウム（平成 22 年度河川整備基金助成事業）

- ・開催日 平成 22 年 7 月 16 日
- ・招聘者 北村 喜宣 上智大学法学部地球環境法学科教授
平山 隆一 住友化学株式会社レスポンスブルケア室環境・安全部長
高橋 庸一 株式会社日立製作所地球環境戦略室副室長
岩田 信吾 愛知県環境部水地盤環境課規制・土壌グループ主幹
森北 佳昭 環境省水・大気環境局水環境課長

フロンによる温暖化防止取組に関するシンポジウム（平成 22 年度公益信託地球環境保全フロン対策基金助成事業）

- ・開催日 平成 22 年 11 月 9 日
- ・招聘者 勝田 正文 早稲田大学理工学術院機械工学科教授
皆川 重治 経済産業省製造産業局化学物質管理課
オゾン層保護等推進室課長補佐
川村 邦明 株式会社前川製作所常務取締役
石井 武 三洋電機株式会社
コマーシャルカンパニー冷熱技術開発センター
グローバル商品戦略部部長
小笠原祐二 群馬県環境森林部環境保全課次長

森林と生物多様性 COP10 の成果を踏まえた今後の取組に向けて（緑と水の森林基金助成事業）

- ・開催日 平成 23 年 1 月 27 日
- ・招聘者 井上 真 東京大学大学院農学生命科学研究科教授
杉浦 出 JX 日鉱日石エネルギー株式会社
総務部社会貢献活動推進室担当マネージャー
福岡 正博 富士フイルム株式会社
CSR 推進部環境・品質マネジメント部長
岡部貴美子 独立行政法人森林総合研究所
森林昆虫研究領域チーム長
鳥居 敏男 環境省自然環境局自然環境計画課
生物多様性地球戦略企画室長

(3) 情報リスト

毎月 2 回（第 2 月曜日及び第 4 月曜日）全会員に向けて情報リストとして、予算、審議会・研究会等の行政情報について約 3,900 件の情報提供（CD-R）を行った。なお、正会員には、併せて当会ホームページで随時情報提供（ホームページからダウンロード可能）を行った。

4. 総会及び理事会等

(1) 総会

- ・開催日 平成 22 年 5 月 27 日
- ・議案 平成 21 年度事業報告書（案）及び財務諸表（案）について
平成 22 年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について
理事及び監事の選任（案）について

(2) 理事会

第 1 回

- ・開催日 平成 22 年 5 月 27 日
- ・議案 平成 21 年度事業報告書（案）及び財務諸表（案）について
役員の選任（案）について
専務理事への報酬の支給（案）

第 2 回

- ・開催日 平成 22 年 6 月 18 日
- ・議案 社団法人産業と環境の会規程等の改正（案）
理事の選任（案）
役員の選任（案）
浅賀前専務理事への退職手当の支給（案）
新規入会会員の承認（案）
主たる事務所の移転（案）

第 3 回

- ・開催日 平成 23 年 3 月 31 日
- ・議案 平成 23 年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について
理事の選任（案）について
新規入会会員の承認（案）について
公益法人改革への対応（案）について
社団法人産業と環境の会規程の改正（案）について

(3) 経済産業省立入検査（平成 22 年 12 月 10 日）

(4) 事務所移転（平成 22 年 8 月 14 日本店移転登記）

- 移転前 東京都港区虎ノ門 1-3-6 彩翠ビル 3 階
- 移転後 東京都港区虎ノ門 1-5-16 晩翠ビル 6 階